

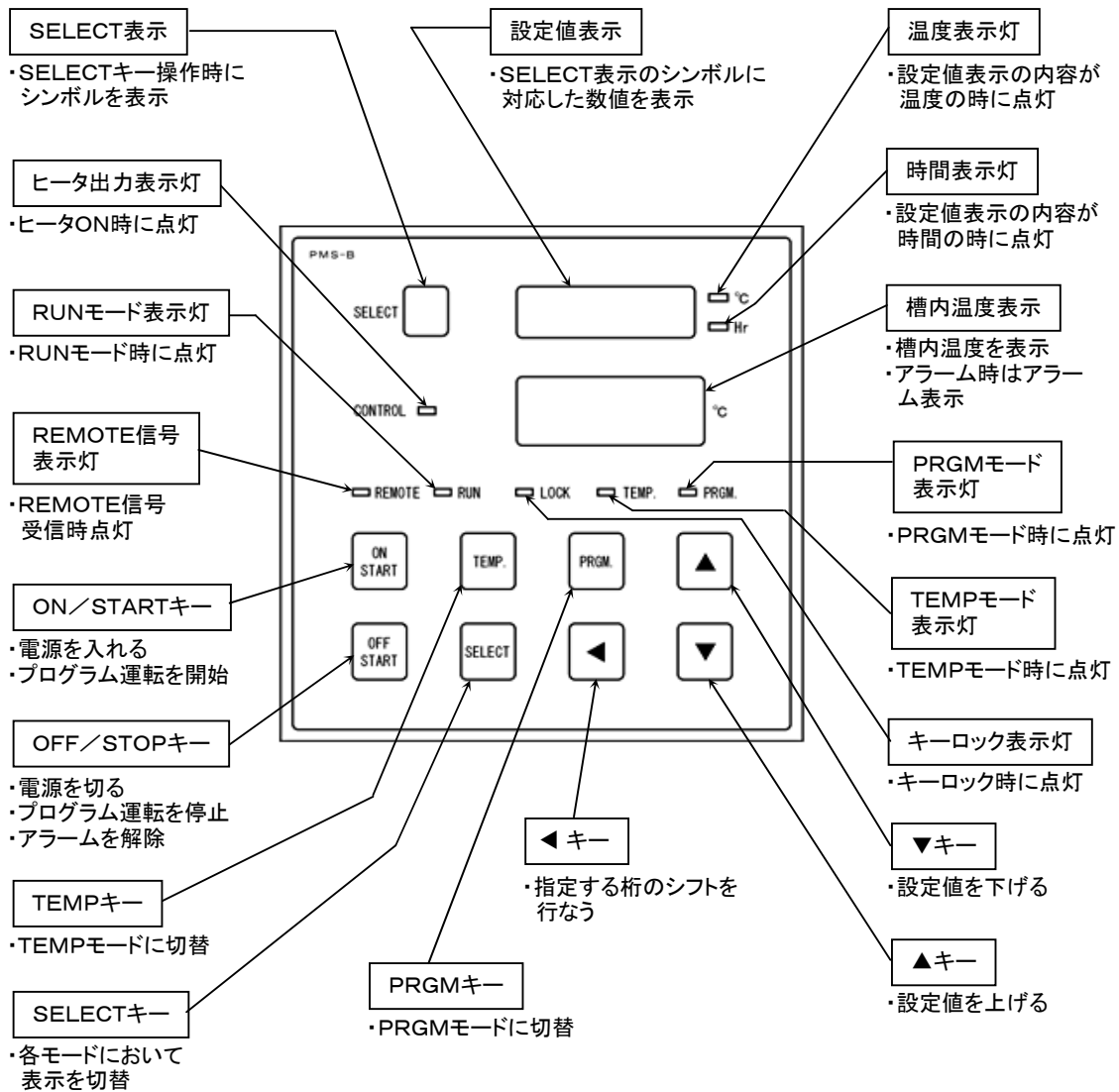
キーロック解除方法：P 2 をご参照ください。

## 計装・リファレンス

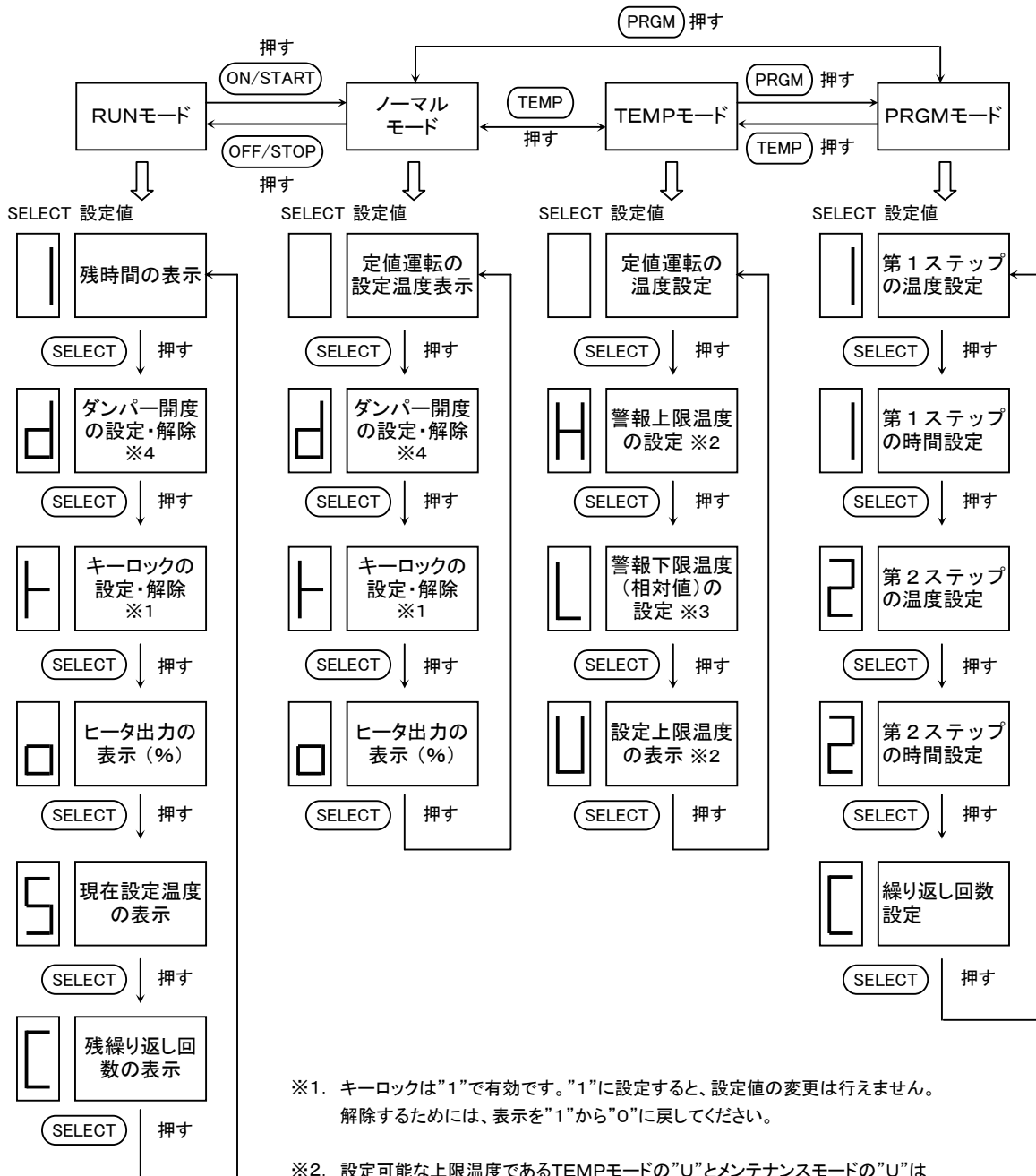
### 【PMS-B】

計装型式	搭載製品	計装名
PMS-B	旧パーフェクトオープン PH(H) - × 00シリーズ PV(H) - × × 0シリーズ	標準計装

#### 1. ディスプレイ部



## 2. 各モードにおける設定、表示内容およびキーの操作方法



※1. キーロックは”1”で有効です。”1”に設定すると、設定値の変更は行えません。解除するためには、表示を”1”から”0”に戻してください。

※2. 設定可能な上限温度であるTEMPモードの”U”とメンテナンスモードの”U”は同じ温度です。ただし、”U”の設定はメンテナンスモードでのみ可能です。警報上限温度は設定上限温度以下に設定可能で、槽内温度が警報上限温度を超えると警報(アラーム表示とブザー)を発生します。

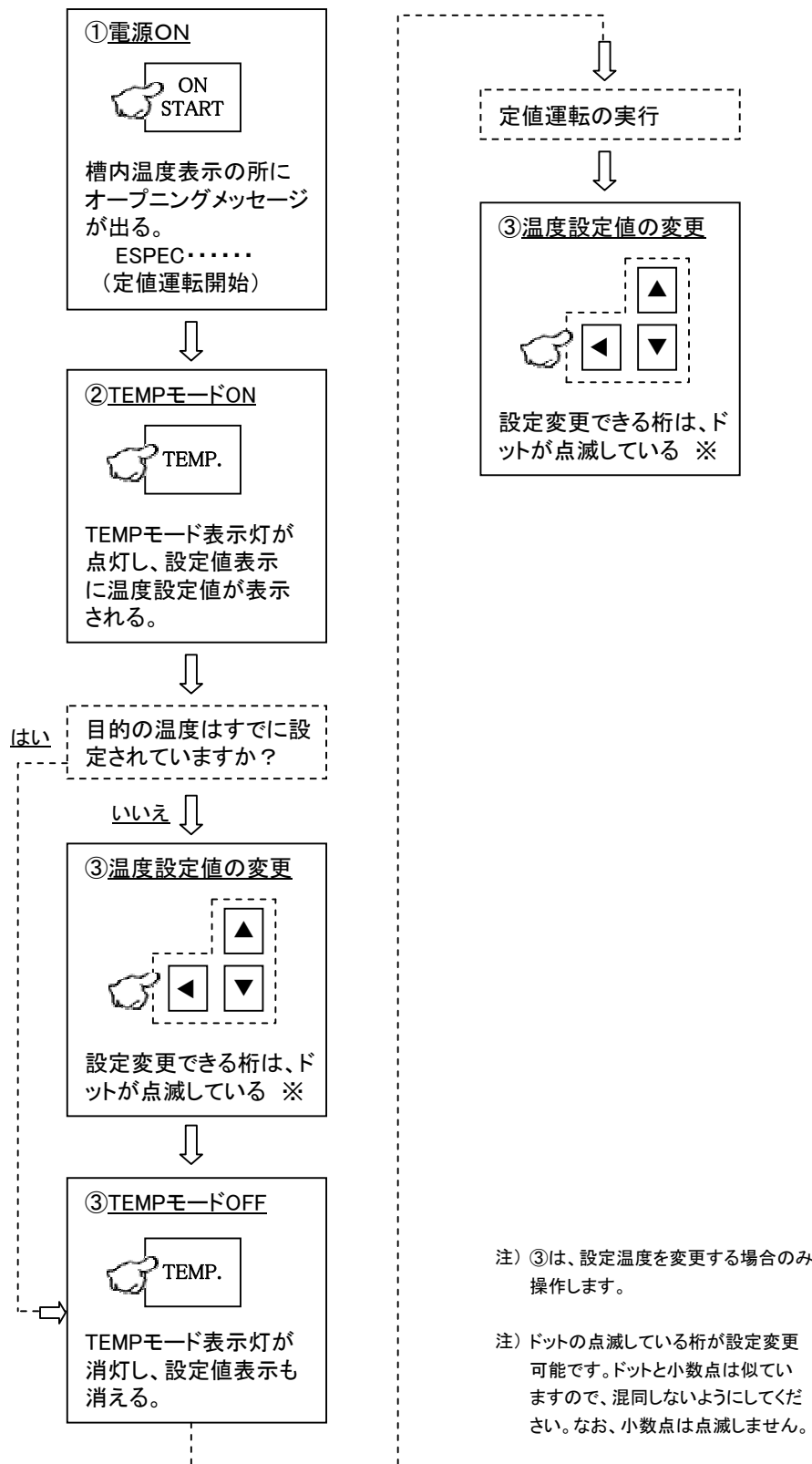
※3. 警報下限温度は設定温度を基準として下限温度が相対値で何℃低いかを示しています。たとえば、設定温度50℃で警報下限温度(絶対値)を0℃にする場合、

$$\begin{aligned} \text{[警報下限温度(相対値)]} &= \text{[警報下限温度(絶対値)]} - \text{設定温度} \\ &= 0 - 50 \\ &= -50(\text{℃}) \end{aligned}$$

となります。また、警報下限温度を0℃に設定した場合、下限温度に対する警報(アラームとブザー)は行われません。

※4. 自動ダンパー(オプション)が装着されていない場合は、この設定は無効になります。

### 3. 定値運転の設定方法



#### 4-1. プログラム運転パターン

プログラムには、“0” が設定される位置によって、表のような4種類の運転パターンがあります。表に、その4種類の運転パターンの設定値とディスプレイ(設定値表示)での表示内容を示します。“0” に設定すると、表示は“0”ではなくて、**U P o n** や **L i n E** のような文字表示となります。なお表中のT1,T2は任意の温度、t1,t2は任意の時間を表しています。

No.	運転パターン名	運転パターン	第1ステップの温度	第1ステップの時間	第2ステップの温度	第2ステップの時間
1	タイムアップ ストッププログラム		T1	t1	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="F"/> <input type="text" value="F"/>	<input type="text" value="U"/> <input type="text" value="P"/> <input type="text" value="o"/> <input type="text" value="n"/>
2	タイムアップ スタートプログラム		<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="F"/> <input type="text" value="F"/>	t1	T2	<input type="text" value="U"/> <input type="text" value="P"/> <input type="text" value="o"/> <input type="text" value="n"/>
3	2段ステップ プログラム		T1	t1	T2	t2
4	ランププログラム		T1	t1	T2	<input type="text" value="L"/> <input type="text" value="i"/> <input type="text" value="n"/> <input type="text" value="E"/>

## 4-2. プログラム運転の設定方法

